

完了後の評価個表

| | |
|------|----|
| 整理番号 | 12 |
|------|----|

| | | | |
|---------|------------------|---------|-----------------|
| 事業名 | 森林環境保全整備事業 | 都道府県 | 岐阜県 |
| 地域（地区）名 | ながらがわ 長良川 | 事業実施主体 | 県、市、森林組合、森林所有者等 |
| 関係市町村 | ぎふ 岐阜市ほか8市町 | 管理主体 | 県、市、森林組合、森林所有者等 |
| 事業実施期間 | H23年度～H27年度（5年間） | 完了後経過年数 | 5年 |

| | |
|----------|---|
| 事業の概要・目的 | <p>本地区は、岐阜県のほぼ中央に位置し、岐阜市、関市、美濃市、羽島市、羽島郡岐南町・笠松町、各務原市、山県市、郡上市の7市2町から構成されている。</p> <p>本地区の総面積 221 千 ha のうち、森林面積は 166 千 ha（森林率 75%）、対象民有林は 162 千 ha（森林全体の 97%）、うち人工林は 82 千 ha（人工林率 51%）となっている。</p> <p>森林面積のうち、本地区の樹種別面積はスギが 38 千 ha（23.6%）、ヒノキが 42 千 ha（26.1%）と、県全体（スギ：15.8%、ヒノキ：26.5%、カラマツ：1.2%）と比較するとスギの割合が高くなっている。また、本地区の天然林の割合 49%は県全体 55%に比べて低いことも特徴である。また、計画区的人工林はⅩ、Ⅺ齢級をピークとした構成となっており、適正な森林整備が求められている。</p> <p>本地区も全国の状況と同様に林業従事者の高齢化や労働条件の改善が進まないなど厳しい状況にあり、森林が有する水源涵養等の公益的機能の発揮が求められる。</p> <p>一方、県内で整備されている合板工場や大型製材工場の稼働により、県内の木材需要が高まり、本地区においても豊富な森林資源を活かした安定的な木材供給への機運が高まっている。</p> <p>このため、効率的な施策を実施するための基盤整備や、高まる木材需要に対応するために意欲と能力のある林業事業者による集約化された計画的な森林整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容 森林整備 9,704 ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>・総事業費 4,442,970 千円（税抜き 4,173,589 千円） （平成 22 年度の評価時点 4,529,000 千円（税抜き 4,313,334 千円））</p> |
|----------|---|

| | |
|-------------------------|--|
| ① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化 | <p>令和 3 年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した総便益及び総費用との差異については、労務単価の上昇や優先度の高い箇所から実行したことに伴う事業量の変動等によるものである。さらに、保育間伐においては資源の充実から、伐採する立木が大径化したことにより出材量が増加し、資源の有効活用を図るための搬出に伴う路網作設の費用がかかり増しとなったことが原因と考えられる。</p> |
|-------------------------|--|

| | |
|-----------------------------|---|
| | <p>総便益（B）43,020,425千円(平成22年度の評価時点 37,223,193千円※) 総費用（C）8,476,725千円(平成22年度の評価時点 5,852,329千円※) 分析結果（B/C） 5.08（平成22年度の評価時点 6.36※）</p> |
| ② 事業効果の発 現状況 | <p>更新、保育によって9,704haの森林が整備され、水源涵養、山地保全等、森林の有する 公益的機能の維持増進が図られた。また、列状間伐の実施や高性能林業機械の使用等によ り効率的な作業が行われ、木材が安定的に供給された。 森林整備事業の発注により雇用の場が提供され、地域の社会経済に貢献した。</p> |
| ③ 事業により整 備された施設 の管理状況 | <p>整備された森林は、森林経営計画等により継続して適切に管理しており、良好な管理状 況にある。</p> |
| ④ 事業実施によ る環境の変化 | <p>森林整備の実施により良好な森林が形成され、水源涵養、山地保全、木材等の林 産物の安定供給等、様々な公益的機能が発揮されている。</p> |
| ⑤ 社会経済情勢 の変化 | <p>本地区の林業就業者数は、平成22年度384人から令和2年度は267人に減少している。 こうした状況の中、林業の現場では、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械 作業システムの導入が進められている。 また、県内では大規模な木材加工施設やバイオマス発電施設等が稼働し、木材需要が拡 大しており、今後木材の安定的な供給を通じて、ますます地域経済の振興に寄与してい くことが求められる。</p> |
| ⑥ 今後の課題等 | <p>森林の有する公益的機能の維持増進を高度に発揮させるため、耐久性と利便性に富む路 網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植え付け効率の向上等の効果が期待 されるコンテナ苗の導入、保育作業の省力化など低コストで効率的な作業システムの確立 のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行 うことが重要である。また、森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を行い、積極 な森林施業の実施を促進する必要がある。さらに、担い手の確保とともに高性能林業機 械のオペレーターを育成していくことが必要となっている。</p> <p>地元の意見：</p> <p>（岐阜県） 森林整備事業実施によって水源涵養や山地保全等の公益的機能の発揮に寄与している。 今後も森林資源の造成や県土の保全のために森林整備が必要である。</p> <p>（山口市） 森林整備事業の実施により森林の公益的機能が発揮されているものと考えている。 今後も計画的な事業の実施が必要と認識している。</p> <p>（岐阜中央森林組合） 森林整備事業により地域の森林が着実に整備され、地域にとって必要不可欠な事業だと 認識している。森林整備の担い手の確保等の課題を解決しつつ、今後も森林整備に積極 に取り組んでいきたい。</p> <p>（中濃森林組合） 間伐などの施業に伴って開設した森林作業道の開設により、これまで山に入るのが困難</p> |

| | |
|-------------|---|
| | <p>だった人も入れるようになり、森林所有者の意欲の増進が図れた。</p> <p>森林資源が充実しつつあるので、保育作業に加えて、森林の更新を図っていく必要がある。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>必要性： 間伐等の森林整備等を通じて、水源涵養機能や山地保全等が図られ、地域における水源地や、土砂の流出防止等に重要な役割を果たしており、事業の必要性は認められる。</p> <p>効率性： 森林整備では現地の状況を踏まえた効率的な作業システムにより、また、路網整備では集材効率の悪い箇所无路網を開設することにより、コスト縮減が図られており、費用便益分析の結果からも効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林資源の現況や路網の整備状況を踏まえた計画的な事業の実施により、森林の有する多面的機能が向上し、引き続きその効果が継続されていることから、事業の有効性が認められる。</p> |

※平成 22 年度の評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：岐阜県

地域(地区)名：長良川ながらがわ

(単位：千円)

| 大 区 分 | 中 区 分 | 評価額 | 備 考 |
|-----------|--|------------|-----|
| 水源涵養便益 | 洪水防止便益 | 8,309,273 | |
| | 流域貯水便益 | 3,139,777 | |
| | 水質浄化便益 | 11,483,201 | |
| 山地保全便益 | 土砂流出防止便益 | 5,439,312 | |
| 環境保全便益 | 炭素固定便益 | 10,936,332 | |
| 木材生産等便益 | 木材生産確保・増進便益 | 3,712,530 | |
| 総 便 益 (B) | | 43,020,425 | |
| 総 費 用 (C) | | 8,476,725 | |
| 費用便益比 | $B \div C = \frac{43,020,425}{8,476,725} = 5.08$ | | |

森林環境保全整備事業 長良川地域(岐阜県)

